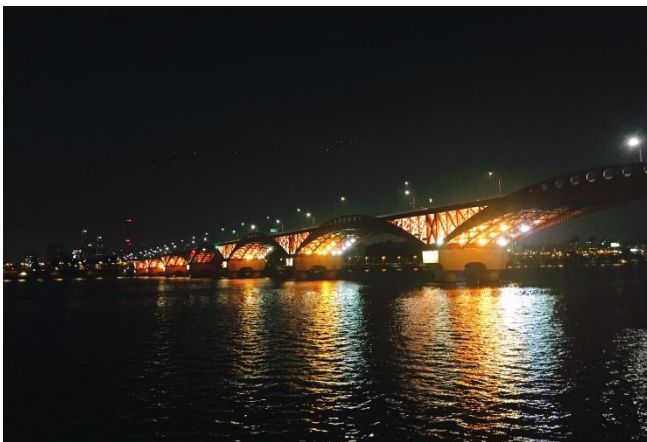


2016 年後期 韓国・祥明大學校 交換留学報告書

文学部日本語日本文学科 内山結貴

9 月

9 月には、韓国で最も大きな名節である秋夕（추석）があります。2016 年は 9 月 15 日が秋夕当日で、その前後の 14 日と 16 日、さらに土日も含めて 5 日間の大型連休となりました。秋夕とは日本のお盆のようなもので、この期間中は祥明大學校周辺の店はほとんどが休業するとのことでした。そのため、ソウルの友達の家泊まりに行き、ロッテワールドモールという大きなショッピングモールや、漢江（한강）というソウルを流れる大きな川に遊びに行きました。また、友達の家で松餅（송편）という秋夕の代表的な食べ物をいただきました。松餅とは、ゴマや豆などの餡が入っている一口大の餅です。とても美味しかったです。

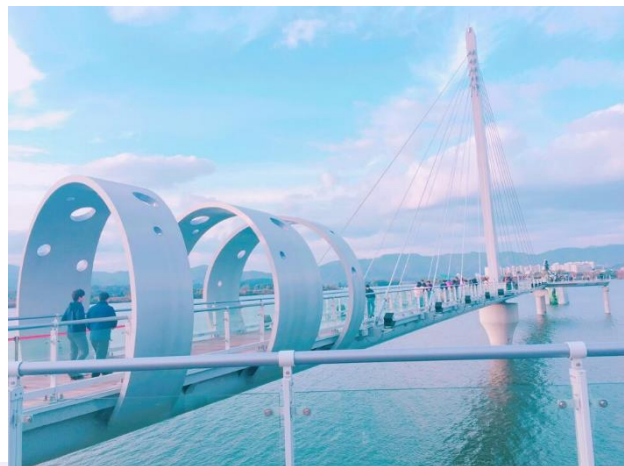


10月

韓国語能力試験を受験したり、後期の中間試験を受けたりと、勉強に追われていた1ヶ月だったように思います。後期は、週末はよくソウルに行って、買い物をしたり友達に会いに行ったりしていました。

春川 (춘천)

中間試験が終わった週の土曜日には、江原道の春川に日帰り旅行に行きました。春川はタッカルビ (닭갈비) などの名物料理で知られる、山と湖に囲まれた自然豊かな都市です。景色がとても綺麗で、展望台が多くありました。スカイウォークという、床がガラスになっている展望台もありました。



11月

熊本県立大学から日本語教育実習団が訪れ、実習生による授業を韓国人の学生と一緒に受けたりしました。また、実習団の来訪に合わせて日本語スピーチ大会が催されました。

加平 (가평)

江原道に接する都市である加平に旅行に行きました。とても寒い中でバーベキューをしたり、冬のソナタのロケ地となった、メタセコイヤの並木道で有名な南怡島 (남이섬) に行ったりしました。



12月

期末試験の勉強や日本に帰る準備など、しなければならないことが多く慌ただしい毎日でしたが、友達との時間をできる限りたくさん作って、留学に悔いが残らないように、良い締めくくりができるように過ごしました。

12月には、日本に帰る前にもう一度食べておきたい韓国料理をたくさん食べました。



左はカンジャンケジャン (간장게장)、
下はラポッキ (라볶이)



左はヘジャングク（해장국）、右はサムギョプサル（삼겹살）



交換留学を終えて

私がこの交換留学で得たもののひとつが「生きた韓国語」です。「勉強して学ぶ韓国語」と「実際のコミュニケーションの中で学ぶ韓国語」は違うということをとくさん感じた一年でした。辞書に載っていた表現が通じないこともあったし、文法が似ているから…と思って日本語から韓国語に直訳した文章がおかしな意味になってしまったこともありました。韓国人が実際によく使う言い回しや単語を、教材を通じてではなく自分の耳で直接聞いて吸収し、自分が話す時にすぐに生かすということは、留学だからこそできることだと思います。日常会話レベルの韓国語もままならなかった留学の初めの頃を思うと、この一年で私の韓国語の実力はかなり伸びました。しかし、まだまだ知らないこともたくさんあります。この交換留学が無駄にならないよう、これからも韓国語の勉強を続けていきたいと思っています。

また、祥明大学校の日本語文学科の皆さんをはじめ、私の周りにいた人はみんな優しく温かい方ばかりでした。そのおかげで私は途中で投げ出したり苦に感じたりすることなく、勉強を続けることができたのだと思います。勉強面だけでなく、ありとあらゆる面でたくさんの方に支えられ、助けられてきました。私の留学生活がこれほどまでに充実していたのは、日本語文学科の先生方や学生の皆さんをはじめとする周りの方々、そして一緒に留学した端山さん、北岡さんの存在あってこそだと思います。交換留学という素晴らしい機会を与えてくださった熊本県立大学の先生方、端羽さん、池田さんをはじめとする学生支援課の皆様も本当にありがとうございました。

留学の申請をした時にはまだ少し気持ちに迷いや不安があったのですが、留学を終えた今では、あの時諦めなくて本当に良かったと思います。私にとってこの交換留学は、想像以上にたくさんのご縁を得ることができたかけがえのないものとなりました。